

地域農業に関して

問 小林 遊休農地の今後の活用については。

答 市民農園の活用とともに、農家組合、営農団体、JAとも協議しながら活用を検討していきたい。

大井武蔵野の砂ほこり対策

問 伊藤初 大井武蔵野地区の砂ほこり対策を。

答 平成二十一年度から緑肥作物の作付を推進し、小麦の種の無料配布量を毎年増やし対応しています。

「ふじみん」の活用と周知に関して

問 小林 軽自動車などのナンバープレートに利用した周知を検討してみては。

答 ナンバープレートを活用した周知について、市のイメージアップや観光振興にとって有効な手段だと考えていますので、今後、活用する方向で研究していきたい。

自治会の組織率向上を

問 塚越 町会・自治会の組

織率向上と、行政との真のパートナーシップの確立を図るべきでは。

答 加入率は六一％です。加入率の向上は行政にとっても喫緊の課題と認識しています。連合会とも連携・協力しながら、加入促進など自治組織の活動支援事業を展開していきます。

大井配水塔の文字書きかえについて

問 小高 大井町からふじみ

野市への書きかえを、三年前に質問したとき、「二千万円くらいかかるので、財政的にできない」と答弁があったが、今回実際には一二万三、五〇〇円でできた。これまでの答弁は何だったのか。

答 手法を研究した結果、安価でできました。今後も、安全・安心・安定供給の水道事業運営に努めていきます。

住宅リフォーム補助の新設を

問 新井 商工会のリフォーム補助制度に上乗せができませんか。

答 商工会の平成二十二年度

リフォーム実績は三十四件の受注件数で、補助金として四九万六千円、受注額は三、一

福祉・医療

第五期介護保険計画の保険料等軽減の見通し

問 新井 平成二十四年度の第五期の中で、三段階の所得一二〇万円以下の被保険者の軽減内容は。

答 三段階目を二区分にし、保険料率の軽減を考えています。

問 介護保険の基金約二億四千万円を活用して、保険料などの引き下げを。

答 現状で、基金から一億五千万円を投入しています。もう少し投入することを検討していきます。

地域包括ケアシステムの構築に関して

問 小林 地域包括ケアについて、今後の予定や方向性は。

答 日常生活圏域ごとの要望調査を行ないました。その基

四六万円、現状として、この程度にとどまっているので、状況の推移を見守りたい。

健康保険加入の把握を

礎データを基に計画案を作成します。その後、パブリックコメントを実施し、広く市民の皆様の意見を募っていく予定です。

健康保険加入の把握を

問 民部 職場で健康保険厚生年金に加入すべき人が国民健康保険、国民年金に加入している。把握しているか。

答 法人または五人以上の従業員がいる事業所は、社会保険・厚生年金の加入が定められています。市では把握できていません。該当と思われる人には社会保険のメリットを説明し、本人から事業所や年金事務所へ相談するようアドバイスをしています。

人間ドック補助制度の拡大を

問 伊藤初 人間ドック補



対象年齢拡大が望まれる人間ドック

答 疾病に対する早期発見、健康意識向上などの効果があり、医療費の抑制に期待ができるものと考えます。なるべく早い時期に実施できるように、国民健康保険と後期高齢者医療保険とあわせて検討します。

障がい児施設の新増設予算

問 伊藤初 小学校卒業後の障がい児デイサービス施設の新増設予算を。

答 中高生の居場所が少ない現状は理解しています。民間事業者にお願いくつと同時に、第三期障がい福祉計画の中で検討していきます。

こども医療費の窓口負担をなくしては

問 伊藤美 現在こども医療費は、償還払い方式です。支給申請の事務量の軽減と経済状況にかかわらず、医療が受けられるように窓口負担をなくすべきでは。

答 市民サービスの向上につながることから、来年度中の実施に向け努力します。

子宮頸がん予防ワクチンの助成を継続に

問 伊藤美 現在実施されているワクチン接種が、平成二十四年度以降は全額自己負担となる。助成を継続することが重要と考えるが。

答 今後も継続していく方向で事業を進めていきたい。

乳がん検診を個別検診との選択制に

問 伊藤美 体調不良などにより二四五人が集団検診を受診できなかった。個別検診との選択制で、さらなる受診率の向上を。

答 検診できる医療機関が限られているため、今後検討し

子育て・教育

地域子育て応援タウン認定の概要は

問 民部 市が埼玉県の地域子育て応援タウンの認定を受けた。概要は。

答 総合支援窓口を子育て支援課に設置し、情報提供や相談を行なっています。地域子育て支援センターは、第2鶴ヶ丘放課後児童クラブ、東台放課後児童クラブなど六カ所を設置しています。

保育所・学校等の放射線対策を

問 塚越 保育所・学校・公園・通学路などきめ細かな放射線量測定と、除染対策は。

答 今後は、市の対処指針に基づき空間の放射線量を測定するとともに、ホットスポットが発見され次第、除染していきたくと考えています。

学校施設の改善を

問 伊藤初 学校施設の改善を早急に。

答 平成二十四・二十五年度で、鶴ヶ丘小、大井西中の大規模改造工事を実施予定です。三角小の老朽化に対しては改修の必要が高いと考えていますが、三か年計画に基づき計画的に実施していきます。

授業参観について

問 福村 高齢者の方が学校

へ積極的に参加しやすい機会として、祖父母参観日を設けては。

答 祖父母の触れ合いを通して、児童に敬愛の心を育成することは極めて重要です。機会の設定については、学校に伝えます。人と人との心のきずなを結んでいく教育活動の充実に努めるとともに、地域のシニア世代の教育力を学校に集め、活用を図っていき



大規模改造の待たれる三角小学校

図書館の指定管理者制度導入について

問 足立 図書館の指定管理者制度導入について、図書館協議会は、直営と答申している。教育委員会、社会教育委員の会議で議論もしていないのに、公共施設適正配置計画で指定管理者制度の方針を出したのは逆ではないか。

答 指定管理者にするかどうかの判断は、現在検討中です。